

どうとくのひろば



道徳だよりへのお返事をありがとうございました！

1学期に発行した道徳だよりへのご感想をたくさんいただきました。学校での学びをしっかりとご家庭での生活とつないでいただいている様子やお知らせしたことを子供たちとの関わりに生かそうとしていただいている様子が分かり、大変ありがたく思いました。全てをご紹介することはできませんが、保護者の皆様からいただいたご意見・ご感想のいくつかを紹介させていただきます。

1年生のときは、だんだんと「道徳の授業好き!」と言うようになり、持ち帰った教科書も熱心に読んでいました。「話し合うこと」「敬い敬われること」の大切さは、歴史でも今の世界情勢においても深く考えさせられます。2年生でも、実生活や道徳の授業で心の成長があることを願っています。

道徳はとても大切だと思います。子供たちには、心、身体、脳、それぞれいろいろな考え方の人、いろいろな困難を感じている人がいること、それが当たり前であることを知り、きちんと対応できるようになってほしいです。私もこのおたよりと一緒に学ばせていただきます。

子供が豊かで柔軟な心を持ち、適切な判断力を備えていけるように道徳の時間や先生方のご協力は今後ともお願いしたいし、私たち家族も子供との時間をもったり、子供の様子を見守ったりしていくつもりです。何か心配事や助言を求めたいときは、よろしくお願いします。

幼稚園年長から入学にかけての間ぐらいから自分の得意、不得意に気付き始めてきたかなと感じています。ただ、まだ自分ができない不得意な部分を気にすることが圧倒的に多く、ネガティブになる時期もあったので、道徳の授業を通して、自分のよいところにも目をやって自信をもって生活してくれたらいいなと思います。

戦争、事件、事故など、毎日様々なニュースが飛び交う中で生きている子供たち。授業で命の大切さを学ぶことはとても重要なことだと思います。家族でも話をしていければと思いました。

小学校に入る前より「私はどうやって生まれたん?」「死ぬってどういうこと?」と時折聞くようになりました。1年生なので、理解したり想像したりすることが難しいこともありますが、その年齢に合った言い方で、できるだけ正しく伝えられたらと思っています。学校生活の中で、先生や友達と一緒に考えたり、自分の思いを語りすることも、とても大切だと思いました。毎日の生活の中で、家族との対話や団らんする時間をもって、一緒に思いや考えを共有する、共感することを大切にしたいと思っています。

愛されていると実感することは子供にとって、とても大切だと思います。我が家でも命名紙の前で抱っこしている写真をリビングに飾っていますが、誕生の喜びをいつも感じられてよいものです。

二学期からも各学年の道徳の授業の学習の様子や子供たちの成長を道徳だよりでお伝えしていきます。その時々感じられたことやご家庭での子供たちの様子などを率直にお伝えいただくと、励みになります。よろしくお願いいたします。

----- 切り取り -----

道徳だよりへのご質問・ご感想

() 年 () 組 児童名 ()

